

「摂津市上下水道ビジョン及び経営戦略〔改定版〕（案）」への意見公募の結果について

摂津市上下水道部 経営企画課

この度、「摂津市上下水道ビジョン及び経営戦略〔改定版〕（案）」の意見公募を行いましたところ、24名の方々からご意見をいただきました。誠にありがとうございました。

皆さまから寄せられましたご意見の内容と市の見解等について、摂津市パブリックコメント手続きに関する指針（以下「指針」という。）第7条第2項の規定に基づき公表いたします。

○意見募集期間 令和7年1月20日～令和7年2月21日

○意見提出者数 24名（意見数：40件）

※この意見公募については、「上下水道ビジョン及び経営戦略〔改定版〕」を策定するにあたり、市民等の意見を考慮することを目的としており、当該案に対する意見でないものにつきましては、市の見解を差し控えさせていただきますので、ご了承ください。

※いただいたご意見は、原文のまま項目ごとに分類した上で掲載していますが、指針第7条第3項に該当する情報等が含まれているご意見は、一部を公表しておりませんので、ご了承ください。

計画の変更等の凡例 ○：ご意見を踏まえ、計画の修正を行うもの 空白：考え方が盛り込み済みのもの、又は今後の参考とするもの

意見の内容	市の見解	計画の変更等
1. 上下水道料金に対するご意見 意見数：16件		
<p>●水道、下水道は、市民生活の根幹に関わる事業です。水道料金は値上げではなく、根下げしてください。</p> <p>●水道料金が高すぎます。下げれるものでしたらさげてください。物価が高くなっているので、これ以上の値上は生活が持ちません。</p> <p>●摂津市に水道と下水道料金が北摂7市や隣接なかで最も高いこれ以上値上げやめてほしい</p> <p>●生活が苦しいので水道代を上げないでください</p> <p>●生活が大変なので水道代を上げないでください</p> <p>●昨年度も含め、物価が上がっている事で生活が苦しい。そんな中、日々のくらしに欠かせない水道料金の値上げは行わないでほしい。また水は命に関わる社会保障につながるものです。一般会計繰入による福祉的施策として減免制度を作成してもらいたい。そして子育て世代を含め、住みやすい街にする様に中間層の負担を軽減する措置を検討してもらいたい。</p> <p>●太中浄水場見学に行ったこともあり、水質はきちんと管理いただいていたと思います。ただ上下水道料金については、近隣他市より高いのはなぜか理解できません。我家は高額すぎて困っています。これ以上の値上げはとんでもないことです。</p> <p>●物価高で生活が大変なのにこれ以上の値上はしないで下さい。北摂の中でも最も高い水道料の値上はやめて下さい。</p> <p>●年金生活の為、物価高で大変です。公共料金の水道料金の値上げはやめて下さい。</p> <p>●年金は実質かなり減っています。そのなかでさらに上下水道料金の値上げはまっぴらご免。</p> <p>●物価高騰でくらしは大変。日々のくらしに欠かせない水道料金の値上げは行わないでほしい。</p> <p>●摂津市の水道料金（下水道料金）は、北摂7市のなかで最も高い。2年後にしても26%値上げは大きい。水道は市民の命に関わる社会保障の問題です。福祉的施策として減免制度を作ってほしい。</p> <p>●物価高で生活が出来ません。その上電気代も高いし私達を苦しみの中に入り込ませる。水道代が26%も上るとすれば私生活が成り立ちませんので市として考え直してください。</p> <p>●日々のくらしに欠かせない水道料金の値上げは行わないでほしい。</p> <p>●今生活は本当に大へんなんです。今でも他市よりも高いのにこれ以上高くしないで下さい。</p> <p>●上下水道料金が北摂の中で比較してみると摂津市が一番高いです。将来の人工数が減少していく中で収入と支出の関係上で値上げはしてほしくない。</p> <p>摂津は企業数も少ない中で汚水問題や老朽化によって多額の費用が他の市との料金の差があるのではないのでしょうか。</p> <p>他の市の改革する中で負担している財源の活用方法もみていただいて摂津市でもちゃんとした対応をしていただけたらいいと思う。</p>	<p>●水道事業は、税金ではなくお客さまからいただく水道料金収入によって運営される公営企業（摂津市が運営する会社）です。</p> <p>●公営企業は、地方公営企業法第17条の2第2項に定めがあるとおおり、企業の経営にかかる費用は、料金収入で賄う独立採算制が基本となります。安全、安心な水を将来にわたって安定的に供給していくためにも、老朽化した管路の更新、災害に備えた施設の耐震化などを行っていく必要がありますが、その財源は市民の皆様からの水道料金を中心となります。</p> <p>●本市の上下水道料金の水準は、大阪府内43市町村で比較いたしますと、1月あたり使用水量20立方メートルの水道料金は安価順で19番目、下水道使用料は安価順で18番目となっております。府内の平均を下回る水準となっております。</p> <p>●今回の上下水道ビジョン及び経営戦略〔改定版〕でお示しした料金改定時期や改定率は、財政シミュレーションの結果としてお示ししているもので、これらの計画が料金改定を決定するものではございません。</p> <p>●実際の事業運営においては、維持管理費用の削減、更新内容の精査、財源の確保など経営努力を十分に行う中で、経営状況の推移を見極め、料金改定の必要性を検討していくこととなります。改定が必要な場合の具体的な手法や時期は未定ですが、市民の方のご意見も踏まえ検討することになるものと考えております。</p>	

意見の内容	市の見解	計画の変更等
2. 水質に関するご意見 意見数：9件		
<p>●太中浄水場からPフオアが出て、止めたと聞きました。安全、安心の水道に向け、対応してください。</p> <p>●太中浄水場でのPFOAのについて調査と安心安全な水の提供をお願いします。東1丁目でもPFOAの血液検査の結果の悪い人達が出てきています。</p> <p>●別府あたりのPFOAの水質の汚染問題は今後定期検査を行い市民に広く知らせていただきたいです。</p> <p>●水道水を本当に安心して飲めるようにして下さい。公報もみましたが、安心できません。</p> <p>●公報ではPFOA汚染は大丈夫と言っていますが、やはり心配です。飲み水や料理には市販の水を購入しています。年金生活者にはしんどいです。</p> <p>●PFOAの事が心配です。国の基準はゆるすぎます。もっと厳しくしてもらわないと安心して水道水も飲めません。別府地域（南別府も含む）で喉の癌が多い様に思います。その点についても調べてください。安全に生活できるように。</p> <p>●太中浄水場の1つの井戸から暫定目標値に迫るPFOAが検出され、運用停止しているが、近隣の地下水や土壌の調査を行い汚染源の把握と対策を講じて欲しい。</p> <p>●PFAS・PFOA問題も、摂津の（太中浄水場）水道タンクの井戸水から基準値ぎりぎりのPFOAが検出され1つは閉鎖、他のタンク5本も年々濃度が上がっているとのこと。その浄水場周辺住民の血液検査の結果からも高い濃度が5年前に検出されたとのこと。</p> <p>●浄水器も安くはないので水質はくれぐれも安全・安心（PFOA）の「水」をおねがいします。国が国民のために考えてほしいです。</p>	<p>●本市では、水源である深井戸ごとに水質を監視しております。加えて、有機フッ素化合物（PFOS及びPFOA）の検査も定期的に行い、その結果を上下水道部のホームページ上で公表しています。今後も、国の定める水質基準を満たした水道水を市民の皆様様に供給してまいります。</p>	
3. 下水道管の維持管理に関するご意見 意見数：3件		
<p>●埼玉県八潮市の事もあり心配です。道路の下という事もあり車などを見ると落ちないか不安です。下水がどの様に通っているか分かりやすく（業界用語なしで）説明してほしいです。（公報などで知らせてほしい）</p> <p>●埼玉の道路陥没のような事故が起こらないよう調査と対策をお願いします。</p> <p>●上下水道管については昨今のニュースで管理は大変なことと思います。</p>	<p>●上下水道部のホームページ上に、市の下水道についての解説ページを掲載する等、市民の皆様にとって分かりやすい説明手法を検討してまいります。</p> <p>●令和2年度に策定した摂津市ストックマネジメント計画に基づき、TVカメラによる下水道管路内の点検調査を実施しています。また、点検調査の結果、異常が発見された場合は、早急に対策工事を実施しています。</p>	
4. 国への要望に関するご意見 意見数：4件		
<p>●埼玉県の道路陥没の責任は、国にあると思う。現状調査と対策を国に働きかけて下さい。</p> <p>●政治の役割は市民・国民の安心・安全を守ることが最優先するべきだと考える。その為、インフラ設備の維持管理は、都市開発にかける費用より、重点を置かなければならないと思う。その予算獲得に向け、国に対して、交付金？補助金の増額を一層働きかけてほしい。</p> <p>●資金不足の大変だと思いますが、国にもとめるべきだと思います。</p> <p>●国には「国土強靱化基本計画」というのなら、国がもっとお金を出してくれるよう働きかけてください。国民の命を守るために軍備費より大事だと思います。</p>	<p>●水道事業では、老朽管の更新に対して国からの交付金（補助金）を受ける要件に、市町村の水道料金が人口5万人以上の水道事業者における平均料金を上回る水準であることと定められておりますが、本市の水道料金は、その水準を下回るため、交付金（補助金）の対象外となっております。一方、下水道事業では、雨水対策やストックマネジメント計画に基づく下水道管路内の点検調査などに対して、国から交付金（補助金）を受けています。</p> <p>●令和6年度から、水道事業が厚生労働省から国土交通省へ移管されたことにより、上下水道事業一体で進める耐震化に対する交付金（補助金）制度が創設され、また、令和7年度には更なる制度拡充が検討されています。本市としては、新たな財源確保に向けて情報収集を行い、積極的に制度活用するとともに、国への要望を行ってまいります。</p>	
5. 財政運営に関するご意見 意見数：2件		
<p>●水道管などの更新費用は一度にすべての管を交換するのではなく、時期をわけて少しずつ徐々に交換をするなどし、一度に多額の支出を出さない方法などをして支出を抑えるようにすればよいと思います。</p> <p>●他の市の改革する中での負担している財源の活用方法もみていただいて摂津市でもちゃんとした対応をしていただけたらいいと思う。財源も確保しつつ、市民が安全、安心、生活水準を確保できるような財政をしてほしいです。</p>	<p>●水道事業では、法定耐用年数を経過した管路が多数発生している状況で、全ての管路を一度に更新するのは困難です。そのため、管路の更新においては、管路の重要度、優先度に考慮し更新費用の精査や各年度への平準化を行った上で、更新を進めているところであり、今後も同様の取り組みを進めてまいります。</p> <p>●下水道事業においては、現在法定耐用年数を超過した管路は少ないものの、過去に短期間に集中して整備を行ったため、多くの管路が一斉に法定耐用年数を経過します。そのため、管路の更新には、管路内部の点検調査により、内部の状態や更新の必要性を見極めながら、可能な限り投資の平準化を行ってまいります。</p> <p>●また、管路の更新に必要な財源確保に向けて、国からの交付金（補助金）など新たな財源獲得に向け積極的に取り組んでまいります。</p>	

意見の内容	市の見解	計画の変更等
6. その他施策に関するご意見・要望 意見数：6件		
<p>●日本のあちこちで、下水道管や水道管の老朽化が問題になっています。摂津市では安易に目標を下方修正しないで下さい。</p>	<p>●上下水道ビジョン〔改定版〕では、令和元年度において設定した目標を維持しつつ、水道事業経営戦略〔改定版〕における令和10年度までの投資・財政計画上では、一部精査を行っています。中期的な事業運営にあたっては、目標達成に向け取り組んでいく考えです。</p>	
<p>●昨年末12月の市議会会議を傍聴したときに、たまたま大阪府下の他市が次々と水道部の民営化（直営でなく売られているのか民間管理下に置か）れている実態を知りました。（オンラインではよく聞く）他国の会社が日本の飲み水を管理するようになってきているとよく耳にするようになりました。私たちの命に直結する大事なことなのでそれは危ないと思います。大阪南部の小規模の市町村や、近隣の…東大阪だったか枚方だったか…近隣市がぞくぞくと民営化されてきているようですが、食や飲み水の安全には、本当にきちんとお金をかけてほしい命の問題だと思います。飲み水に有害物質が含まれるような、あやふやな水をどこの誰だか分からない業者に供給してほしくありません。</p> <p>●行政が公共施設などの資産を保有したまま、民間企業に運営権を売却・委託する民営化手法（コンセッション方式）は、事業経営戦略の1つ、と考えられているのかもしれないが、その結果が太中浄水場の水質劣化につながってしまったということを知ってはいないのでしょうか。「外資は経営方針が変わる危険性がある」「地元の雇用は守られるのか」という心配が拭えません。</p> <p>●「民営化の良いところは価格競争をするところ」「もっと（料金を）下げられるのではないかと」と予測をたてられて、民営化を検討されておられるのかも申しませんが、生命に直結する水道をビジネスにするべきではないと思います。</p> <p>●コンセッション方式を採用しない方法は、人件費が高額の優秀な職員が事業を支えられている今のうちに、経験やノウハウを新入の技術者に継承され、若手技術者を育てる。単純作業で簡単な部分は民間委託をするが、基本的には現在の方式を維持することが大切なのではないでしょうか。それにより、地元の雇用が保たれる。他社に頼ると素の分、雇用も「カネ」も大手企業に流れるという構図が成り立ってしまいます。</p> <p>「外国では民営化で利益を優先した結果、水道料金の高騰や水質の劣化といった問題が生じ、再公営化される事例が増加している」という結果も報告されています。「水道は国民の命や生活を守る最も重要なインフラであり、自治体が水道事業を維持できるように十分な財源・手当などを求めます。自治体の水道経営が厳しい現実があるかもしれないが、水は自治の基本。命である水に「カネ」をかけず、どこに「カネ」をかけると言われるのでしょうか。都市開発よりも命の水を大切にしてください。</p>	<p>●現時点で民営化、コンセッション方式の導入予定はなく、今後も市が経営する公営企業として直営で事業を継続していく考えです。また、大阪府内の市町村で進められている大阪広域水道企業団への事業統合についても予定はありません。将来的に同企業団への事業統合が、市民の皆様にとって有益であることが見込まれる状況になった場合には、検討、協議を行う可能性はありますが、特に近隣自治体の動向を注視しつつ、関係情報の収集に努めてまいります。</p> <p>●また現在、若手職員への技術継承の取組として、水質・浄水の管理や管路の保全、耐震技術など事業分野ごとに必要となる専門知識やノウハウの継承と技術力の維持向上に努めており、今後も、市が経営する公営企業として直営で事業を継続していくうえで必要な人材育成、職員の技術力向上に取り組んでまいります。</p>	
<p>●近年「香害」と言われている衣類洗濯用洗剤は、洗濯時に水に溶けて砕かれるプラスチック製容器に入った洗剤や柔軟剤があります。衣類が乾いて着るときにも残る香りのしくみは、乾燥した衣類に残っているさらに小さなマイクロプラスチックに入った芳香が弾けてにおい、香りとして鼻から吸入され体内に入ってきます。身体にもマイクロプラスチックを取り込んでいる状況です。</p> <p>そのような洗剤を使った後の汚水は大量のプラスチック微粒子が下水として流され、下水処理場へ行くものと考えられます。そして、このようなマイクロプラスチックが完全に分解されて自然界に無害で戻るとは考えられません。人口が減少、トイレや洗濯機の性能が向上したところで、近年の人々が使用している洗剤等が昔に比べて人体に有害であれば、必ずしも（下水の質向上の）効果が上がっていくとは思えません。</p> <p>●脳は血脳関門という協力的なバリアで守られていると考えられていましたが2024年9月発表された医学論文で、はじめて脳からマイクロプラスチックが検出。血流ののって心臓や脳へ運ばれることが発見されました。ナノサイズ（1mmの100万分の1）のマイクロプラスチックを動物に食べさせる実験では、子宮や精巣に溜まって妊娠しにくくなったり、聴力が落ちたり、自閉症やアルツハイマー病のような症状を引き起こしたりさまざまな悪影響が報告されています。</p> <p>下水道汚水は、自然界では分解できないマイクロプラスチックや有害化学物質を本当に多く含んで処理場に集まってきます。水を介して海洋に流れ、食物連鎖より巡り巡って人間の身体に戻ってきます。有害物質である洗剤を使っている市民のみならず（これは一つの案ですが）天然由来（石鹼）の洗剤やマグネシウムが入った商品などを代替えて使用する啓発運動をお願いします。（市ホームページ・広報誌・ネット発信等）</p>	<p>●近年はマイクロプラスチックによる海洋生態系への影響が懸念されており、大阪府において、府内河川における実態把握に向けた調査が行われたほか、海洋プラスチックごみ問題についての対策検討会議が開催され、マイクロプラスチック流出抑制について話し合われている等の状況については、本市としても把握しているところです。今後も、国や大阪府の動向に注視しつつ、下水道管理者としてできる対策があれば対応してまいりたいと考えております。</p> <p>●動物実験の結果等については把握できておりませんが、人体や環境に有害な化学物質として除去できずに、自然界に放流されるものについては、ご意見いただいております。マイクロプラスチックも含め、科学的知見に基づく情報の収集に努めてまいります。</p>	